



# 緑西LETTER vol.2

## 緑西直言



### 過去から未来へ — 伝統とは改革の連鎖なり —

医療法人 芳恵会 三好病院院長

田中 恒雄 (S58卒)

こんにちは、三好病院田中恒雄です。西宮市を勤務地とする兵庫医大同窓生の会報誌として緑西LETTERが発刊されたことは誠に意義深い事であり、創刊号の巻頭言が大江与喜子会長であることは当たり前であります。先輩諸氏、同輩をさしおき創刊2号の巻頭言執筆を私にご依頼いただいたことは誠に光栄なことであります。少々自己紹介を致しますと昭和58年卒業、旧第1外科(岡本英三教授)に入局、消化器外科医(主に肝臓)の道を歩んできましたが平成14年より三好病院に勤務、平成28年4月より病院長を拝命しております。残念ながら現在消化器外科は開店休業状態、職員の中には私が外科医であることを知らない人たちもいるかもしれません。

さて昨今の医療業界の現状は厳しく、特に平成30年4月には診療報酬・介護報酬同時改定がやってまいります。少しずつ情報は流れてきておりますが我々にとっては改定とより改○と言わざるを得ない状況になることは間違いないようです。もちろん支払う側の「無い袖は振れない」状態は分かりますがいったい私達はどうすればいいのでしょうか。たとえばの話です。「今まで10個のりんごを10人で分けていました。でも今りんごは8個しかありません。さてどう分けましょうか、①みんなで平等に0.8個ずつ分ける、②5人は1個ずつ分けて残りの5人で3個を分ける、③8人で1個ずつ分けて残りの2人には残念ながら」になるやもしれません。そういう中で私達はどうすればいいのでしょうか。私は時代に即した改革を行うことがその組織の大小にかかわらず継続可能な唯一の方法だと信じております。以前西宮医師会の会報誌にも掲載され、ご存じの先生

もおられると思いますが私は職員に「頑固おやじの昔ながらのラーメン屋さん」の話をします。世間で「あの店、全然変わらへんね、いつ行ってもおいしいわ」と評判のお店、実は味は変わっているのです。人間の味覚は間違いなく時代によってその好みは変わってきています。頑固おやじは研究熱心で時代に即した味を常に追求しているのです。旧態依然でただ漫然として居れば「あの店まぶくなつた」となるに違いありません、それがサブタイトルに書きました「伝統とは改革の連鎖なり」になるのです。

ではどのように改革をするのでしょうか、唐突ですが皆さん、ダイバーシティってご存知ですか、東京お台場にあるショッピングセンターではありません。英語ではdiversityと書きます。一種のビジネス用語なのですが端的に述べますと「多様性」と訳します。多様性というのはあらゆる環境にも対応可能と言うのでしょうか。何をやるにしても(1)まずは情報収集—diversityの意味に「携帯電話などで複数の電波を受信し、受信状況の良い方を使う技術」というのがあります—まさしく沢山のアンテナを張って多くの情報を得ることが肝要です。(2)そして的確な分析、最後に一番大事なことです(3)それぞれの組織の体力に見合った改革実行、ただ体力以上の事を行おうとするととんでもない結果を招く可能性もあります。私は常にそう考え今まで三好病院、そして私自身の改革を行ってきたつもりですし、今後もそうするつもりであります。

さあ皆さん、みんなで協力してこの荒波を乗り切りましょう。そしてこの緑西LETTERが会員皆様の共存、共栄の場として継続されることを熱望致します。

# みんなで連携しましょう！



平川クリニック  
平川 一秀 (H2卒)

緑西会会員の皆様こんにちは。平成2年卒業の平川です。西宮で開業して10年がたちました。

大学入学時は、不安ばかりが先にたちましたが、いざ大学生活が始まると、こんな楽しいところはありませんでした。

1年生 5号館のロビーにはいつも先輩たちがソファに座って楽しそうに会話をしていた事。(授業出なくていいの?)

2年生 大学祭実行委員会でお手伝いをしていました。その時のY岡先輩が勇んで実行委員会室に入ってきて、大学祭のためのごっつい広告をとってきたぞーと喜んでいました。(すごい勢いでした)この時に違うクラブの先輩とも仲良くなりました。また同じ年に同級生のF渡が阪神タイガース優勝の瞬間に飲み屋で飲みすぎたのか

逆噴射した事。(すごくタイミングよかったです)

3年生 夙川の川べりで一斗缶に穴をあけて自家製バーベキューコンロを作って学年関係なく大焼肉大会をした事。(今はできませんが)

4年生 大学祭の最終日 野外ステージ前のキャンプファイアの周りでビールを掛け合った事。また我がアメリカンフットボール部が優勝して2部に昇格した事。

5年生 ポリクリで初めて白衣を着て聴診器を持ったとき、やっとここまでこれたかと嬉しかった事。

6年生 当時は4月に医師国家試験だったのですが、卒業後の3月に八方尾根にみんなでスキーに行った事。その時に1人転倒して骨折した事。(今考えると無茶してたなあ。骨折した子もちゃんと合格しましたよ)と思いつくまま学生時代の楽しかった事をつづりましたが、皆さんもいろんな思い出がありますよね。そんな連中が医師になり、今や中堅となり地域医療を支えています。兵庫医大卒業のそんな仲間が緑西会として集います。これぞ究極の顔の見える連携であります。皆さんぜひ緑西会総会に出席していただいて連携していきましょう。

# サッカー部 全医体優勝！



ひらいクリニック  
平井 康純 (H4卒)

全医体(全日本医科学生体育大会王座決定戦)で、我が兵庫医科大学サッカー部が創部以来、初めての快挙「優勝」の2文字を手に入れました。全医体は西医

体(西日本医科学生総合体育大会)、東医体(東日本医科学生総合体育大会)の優勝準優勝の各2チームがトーナメント方式で試合を行い優勝を決定します。

自分たちが学生の頃は、毎年、夏に開催される西医体でも1回戦突破が目標だったのですが、その西医体で勝ち抜き全医体出場など考えたこともないぐらいでした。しかし、その西医体を勝ち進み、全医体優勝とは、練習による技術の向上、精神力の強さがか

**撫順 医院**  
内科・小児科・放射線科

 **深田 正代**  
(S58卒・軟式テニス部)

緑西の良心

霞町1-34 TEL: **22-1274**

内科・循環器科・在宅診療

**風川 医院**

 **安田 雄紀**  
(H3卒/ラグビー部)

 **安田 尊子**  
(H11卒/ゴルフ部)

緑西の美女と野獣

門戸荘 18-19 TEL **52-2018**

りのものになっていると思います。というのも今回西医体では準優勝でしたが、全医体決勝では、試合では決着がつかずPK戦にもつれ込みました。自分も経験ありますが、練習試合のPK戦でもかなり緊張しPKをバーにあててしまい失敗に終わりました。その対戦相手が、西医体で、敗れた高知大ともなればかなり士気は高まりますが、その反面緊張感もかなりものと思います。しかし、その中でPK戦を制してリベンジを果たし全医体優勝したのは、技術はさながら集中力と精神力の強さが目立ったように思います。

この経験が、これからの医学界を背負って立つ医

者としてかなり役立つことは、間違いのないことと思います。

私の持論ですが、「何事でもいいので、1つのことに集中でき達成できれば、他の何事にも同様に成し遂げることができる。」と思います。

これからも、サッカーはもちろんのこと、本業の医学にも力を注ぎ、我が母校の兵庫医科大学のさらなる発展に頑張ってください。

我々OBもサッカー部、兵庫医科大学の発展の力になれるよう応援していきたいと思います。

以上報告します。

## 新規開業挨拶



玉田クリニック

玉田 大介 (H18卒)

平成28年4月、阪急西宮北口駅近くで「玉田クリニック」を開設させていただきました。玉田大介と申します。この度は、本稿執筆の機会を頂き、ありがとうございます。

私は平成18年に大学を卒業し、初期研修も兵庫医科大学病院でお世話になりました。大学の研修は各科をまわるスーパーローテートでしたが、内分泌・代謝科での研修が印象的でした。山本徹也教授、森脇優司准教授を中心とした少人数の医局でしたが、内分泌・代謝科の研修は総合診療と言える非常に幅広いものでした。カンファレンスでは山本教授、森脇准教授の幅広い知識と鋭い洞察力に研修医は圧倒されたことを憶えています。その後、一般内科の経験を積みたくて西宮市立中央病院の内科を希望しま

した。中央病院では、様々な症例を経験させていただくと共に、専門とした糖尿病・内分泌内科では紅林昌吾先生に指導いただきました。子供の頃から勉強が好きな人間ではありませんでしたが、紅林先生に上手く勧めていただき、大学院生として、大阪大学の内分泌・代謝内科へ入局しました。大学院では、基礎実験をやり抜く忍耐力はないだろうと早々に見抜かれ、興味を持ったクッシング症候群やアルドステロン症といった内分泌疾患の臨床研究を、自由にさせていただきました。これらの経験を機に、内分泌代謝内科医としての専門知識を、患者さんに身近な開業医の立場から提供できないかと考え、学生時代から住み慣れた西宮北口で糖尿病・内分泌疾患の専門クリニックを開設しました。同門の先生方には、病診連携、診診連携を通して、これからも大変お世話になることと思います。また、取っ付きにくい、マニアック、と思われがちな内分泌疾患ですが、もしお困りのことがあれば、遠慮なくお声掛けいただき、微力ながらもご協力させていただきたいと思います。



医療法人芳恵会 **三好病院**

MIYOSHI HOSPITAL since 1950

【診療時間】午前9:00~12:00 午後1:00~3:00

〒663-8112 西宮市甲子園口北町24-9

TEL: **0798-67-3505**

院長 **田中 恒雄** (S58卒)



市川 信隆 (S59卒・ラグビー部)、  
竹内 雅春 (S59卒・バスケットボール部)、  
田中 恒雄 (S58卒)、大野 正雄 (S62卒・山岳部)

# 第1回緑西杯の報告&第2回緑西杯オープン開催のお知らせ



緑西ゴルフ部主将 明和病院放射線科  
**高田 恵広** (H11卒)

昨年、大江会長から命を受けた吉岡代表世話人が「さらに緑西会を盛り上げる会」を結成され、その活動の一環として緑西杯(緑西会親睦ゴルフコンペ)を企画しました。

第1回緑西杯は平成28年7月10日(日)、有馬ロイヤルゴルフクラブで開催。参加は10名でした。皆さんの日ごろの行いがよく、天候は晴れ、ゴルフ日和となり和気あいあいとプレーをしてきました。

その結果、第1回緑西杯の栄えある優勝杯は西岡医院、西岡啓介先生が獲得されました。準優勝はよしおかクリニック泌尿器科、吉岡優先生、第3位にまつだ整形外科クリニック、松田清嗣先生が受賞さ

れています。おめでとうございます。

さて、第2回の開催は平成29年7月9日(日)、同じ有馬ロイヤルゴルフクラブです。

また、今後も毎年、7月第2週の日曜日に継続開催を予定しています。

第2回緑西杯は多くの方に参加していただけるよう“緑西オープン”とし、兵庫医科大学の卒業生に限らず、「さらに緑西会を盛り上げる会」にご賛同いただける方ならどなたでもご参加いただけます。

ベテラン、初心者問わず親睦を深め、緑西会を盛り立てていこうと考えていますので、皆さん、お

誘い合わせのうへご参加のほどよろしく願いいたします。参加希望の方は、明和病院放射線科・高田までご連絡ください。



## 広報部から

### 平成29年6月17日 総会案内



はまおかクリニック  
**濱岡 守** (H16卒)

この度、緑西LETTER第2号を  
発行するに至りました。

年明けの「今年も緑西会を更に盛り上げる会」には、恥ずかしながら私個人は最新の流行に乗ってインフルエンザに罹患してしまったため参加できませんでしたが、緑西会は今後も引き続き活発な活動を継続していく予定です。

なお今年の緑西会総会は6月17日(土)で、講演には関西労災病院循環器内科副部長飯田修先生(平成13年卒)の御講演を予定しております。場

所は「日本盛酒蔵通り煉瓦館」となります。皆さま奮ってご参加をお願い申し上げます。

ところで、大学のお膝元で診療をさせていただいていることもありその近隣を走ることがありますが、最近では巨大な新教育研究棟の鉄骨がそびえ立ち(阪神高速を走行中も見えます)、母校の発展を目の当たりにしています。今後、同研究棟についてはいろいろな誌面で取り上げられることも多いかと思っておりますので、楽しみにしていただければと思います。

緑西会では今後も「独自」の広報活動を通じて、卒業生の先生方に少しでも母校を身近に感じていただければと考えております。ご期待ください。

## 兵庫医科大学同窓会緑樹会

西宮支部・緑西会会員数 **137名**

うち病院長・院長等管理医師 **69名**

(H29.3.1現在)

## 緑西LETTER

発行日/平成29年3月1日

発行人/大江与喜子

代表世話人/吉岡 優

印刷所/株式会社小西印刷所